
巻 頭 言



キャンパスネットワークの更新に添えて

情報統括センター長
近 藤 克 幸

本年度、本学ではキャンパスネットワークの大規模な更新がありました。情報統括センターならびに図書館・情報推進課のスタッフの献身的な働きや、ベンダーの皆様の努力、さらには、学内の皆様からも多大なるご協力をいただいたおかげで大きなトラブルもなく、スムーズに更新を進めることができましたと思います。改めて、御礼を申し上げたいと思います。

昨年度からの一連の更新に伴いセキュリティの強化もはかられましたが、一方で、昨今の情勢を見聞きすると、とても安心などできません。ヒューマンエラーをも克服して「完全なセキュリティ」を担保できるシステムやネットワークなど、存在しないからです。「破られる可能性は常にある」と言う前提のもとに、適切にモニタリングを行って迅速に異常を察知し、万が一のときは速やかに対応できるよう備え、被害を最小限にとどめることができるか、と言った考え方を常日頃から持っていなければならないと痛感します。

これは、ネットワークを管理する側だけに言えることではありません。インターネットの利用にあたって、いまや、全くと言って良いほど本物と見分けがつかない悪質な偽メールやWebサイトが日常的に見られるようになりました。「偽情報、悪意のある情報が、どんな人の周囲にも当たり前のよう存在している」と肝に銘じながら、インターネットを利用しなければならない時代になりました。

教職員や学生の皆様はもちろん、本学と何らかの関わりのある方々におかれましても、引き続き情報セキュリティに関する意識を高め、身近に存在するリスクに十分注意されるとともに、キャンパスネットワークの安全な運用へのご協力をよろしくお願い申し上げます。